

デジタルテレビからの遠隔集中監視・制御の相互接続検証に成功 ～Interop Tokyo 2007にてデモを実施～

ファシリティ・ネットワーキング相互接続コンソーシアム

■概要

ファシリティ・ネットワーキング相互接続コンソーシアム（以下「本コンソーシアム」とする）では、デジタルテレビ*1に搭載されている Web ブラウザから遠隔地にあるさまざまなメーカー/ベンダのビル設備機器やシステムを集中監視・制御する相互接続検証に成功しました。

本実験の成果は、13日より幕張メッセで開催される「Interop Tokyo 2007」のユビキタスネットワークワーキングパビリオンにてデモンストレーションを行います。

本コンソーシアム（主査：東京大学教授 江崎 浩）は、協議会に所属する産学各界のメンバーをはじめ、制御通信規格団体、通信事業者、メーカー、ハードウェア・ソフトウェアベンダ、インテグレータなど幅広い分野からの参加の下、2006年3月13日に27の企業・団体と共同で設立いたしました。

■背景および詳細

建物・施設内の照明、空調、防犯、電力、環境、その他の設備は、通信ネットワークによって相互に接続され、管理・監視・制御されています。システム間の連携にあたっては、Ethernet および IP ネットワークを介するのが一般的になりつつありますが、各ベンダの仕様に対する解釈や実装の違いにより、マルチベンダによる実用的な相互接続システムの構築にはまだ解決すべき課題が多く残されています。これらの相互接続性を確認しながら課題を1つずつ解決するために、本コンソーシアムは各種規格団体、メーカー、ベンダ、インテグレータなどが情報を持ち寄って活動しています。

今回は今後の普及が見込まれるデジタルテレビを利用し、遠隔地にあるさまざまなベンダのビル設備機器やシステムを、PC を使わずに簡易認証を行った上で集中監視・制御する環境を実現しました（出展協力企業・団体は以下の通りです）。内部的には、Web サービス規約の一つである BACnet/WS*2 と oBIX*3 を共通プロトコルとし、実際の監視・制御を Web サービスで実現するとともに、その指示と結果を変換して Web サーバ側に授受する機構を実現することで、Web ブラウザからの操作を可能としました。この実装を展開することにより、Web ブラウザを搭載した携帯電話やカーナビ機器などから、いつでも場所を選ばずにこのような設備の操作を容易に行うことが可能となります。

今後は UDDI*4 の利用、WiMAX の活用、セキュリティの確保などを視野に入れつつ、IP によるファシリティネットワーキングの統合の活動を進めてまいります。

【出展協力企業・団体】（順不同）

清水建設株式会社

松下電器産業株式会社

松下電工株式会社

株式会社 NTT ファシリティーズ
株式会社東芝
株式会社山武ビルシステムカンパニー
株式会社 IRI ユビテック
特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN
IPv6 普及・高度化推進協議会

*1 ブラウザ機能搭載のデジタルテレビおよびデジタルチューナー。

*2 BACnet (ASHRAE が 1995 年に規格化したビル設備システムの標準通信プロトコル (A Data Communication Protocol for Building Automation and Control Networks の略) で Web サービスを利用するための規格。

*3 ビルとビル施設、空調と企業アプリケーションを Web サービスで結ぶための規約。Open Building Information eXchange の略。

*4 XML を応用した、インターネット上に存在する Web サービスの検索・照会システム。

※ BACnet は ASHRAE (米国暖房冷凍空調工学会) の商標です。

※ その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。



■本件および本コンソーシアムに関するお問い合わせ先

ファシリティ・ネットワーキング相互接続コンソーシアム 事務局：神保

〒100-8141 東京都千代田区大手町 2-3-6 三菱総合研究所ビル 5F (株)三菱総合研究所 内

Tel. 03-3277-0721 / Fax. 03-3277-3464 / E-mail: fnic-info@mri.co.jp

<http://www.v6pc.jp/fnic/index.phtml>